

<継続審議事項>

【事務局】

『事務員雇用について』

事務局員雇用について検討する。

【財務局】

『日当規程の改訂について』

各部局の業務について調査を行い、それを踏まえて規定改定を検討する。

公益社団法人埼玉県理学療法士会 平成 28 年度 第 4 回拡大理事会議事録

1. 日時：平成 28 年 11 月 15 日（火）19：00～21：30
2. 場所：大宮ソニックシティ 603 会議室
3. 出席理事：清宮清美、岡持利亘、望月久、原和彦、渡邊雅恵、水田宗達、本宮光信、
矢野秀典、細井俊希、河合麻美、原嶋創、杉浦恵介（代行）、栗原慶太、横山浩康
出席幹事：田尻和行、前園徹
出席部長・委員長・エリア長：片山未来（代理）、西尾尚倫、鈴木昭広、渡邊孝広、瀧上晃弘、
丸山薫、山崎大、宮田淳子、今野登、茄子川知浩、小川由美子、
田口孝行、遠藤浩士、中俣修、新井武志、池田渡、原田慎一、吉田優、
黒川哲也、海老澤玲、北村直也、櫻場勝、吉川貴矩、山浦徹志、
小峰隆弘、河井剛、松野隆史、飛田英樹、大沼貴広、川崎新太郎、
山田義憲、藤田博暁、渡邊賢治、須藤京子、工藤昌弘、加藤太郎
出席部員：前田伸悟、山名智也、櫻井亮輔、西岡幸哉（書記）
欠席者：南本浩之、知久逸平、加藤研太郎、阿久澤直樹、石田泰樹、古澤浩生、若松久高、
國澤洋介

《平成 29 年度日本理学療法士協会重点課題》

清宮会長より、平成 29 年度日本理学療法士協会重点課題についての説明があった。

理学療法士の質の向上、地域包括ケアシステムの在り方、開業についての問題、アジア健康構想への対応、会員組織率の維持向上について個別に説明があった。

また、第 36 回関東甲信越ブロック理学療法士学会は長野県で開催予定との説明があった。

《平成 29 年度事業計画案についてのヒアリングシート》

【事務局】

来年の総会は 2017 年 6 月 18 日に開催予定であるとの報告があった。

・総務部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

・庶務部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

各部局で今年度事務室を介して行った通信費について、手続きの煩雑さを軽減するために来年度は庶務部で予算を立てようと考えているため報告してほしい、と説明があった。

清宮：どのようなことか詳しく説明してほしい、との質問があった。

西尾：事務局であらかじめ予算立てをするのでわかっているものがあれば前もって教えていただきたい。詳細はサイボウズに載せる、と説明があった。

・総会運営部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

・管財・資料部：今後規定についてなど資料をまとめてサイボウズに載せる、と説明があった。

・厚生部：託児事業の充実を引き続き図ることについて、説明があった。

また、県学会後の懇親会について案内があった。

- ・ 労務管理部：事務室の事務員の雇用について説明があった。

【財務局】

- ・ 出納部：ヒアリングシートに沿って説明があった。
- ・ 会費管理部：現状で 476 名会費未納者がいる。会費未納者への対応についてヒアリングシートに沿って説明があった。

清宮：協会より会費は前納制の導入を検討している、と説明があった。

- ・ 財務渉外部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

【事業局】

- ・ 高齢者福祉部：ケアマネジメント研修会の統合、地域ケアマップについてヒアリングシートに沿って説明があった。
- ・ 健康増進部：一般向け公開講座の集客、介護保険支援事業の広報についてヒアリングシートに沿って説明があった。
- ・ スポーツリハビリテーション推進部：障害者スポーツ大会の開催増加、地域へのサポート、オリパラへの参画について説明があった。
- ・ 小児福祉部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

【学術局】

- ・ 研究推進部：ヒアリングシートに沿って説明があった。
- ・ 理学療法編集部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

【教育局】

- ・ 研修部：理学療法士講習会の開催、理学療法士の質と倫理について、説明があった。
- ・ 新人教育部：eラーニングの利用、理学療法士の質の向上について、ヒアリングシートに沿って説明があった。

清宮：管理者研修会を教育局で開催できないか、と意見があった。

細井：管理者研修会は各ブロックで開催する事業ではないか、と意見があった。

水田：協会指定管理者研修は所属で小さい班でもいいのでリーダーをやったことがある者、代表者会議は各施設の理学療法士代表者が対象である。そのため、今年度は抱き合わせて開催したが別の方がいいのではないかと意見があった。

清宮：対象者が違うので、できれば管理者研修は教育局でやった方がいいのではないかと。開催自体はブロックごとでよい、と意見があった。

- ・ 臨床実習教育部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

【広報局】

- ・ 会報編集部：広報誌の発行についてヒアリングシートに沿って説明があった。

・インターネット管理部：データ管理システム、フェイスブックの利用や事業の内容などの各報告方法について、ヒアリングシートに沿って説明があった。

清宮：ホームページとフェイスブックに挙げる内容は同じでいいのか、と質問があった。

原田：各部局からの報告ページ等、記載する場所があるのでそれに合わせて投稿をお願いしたい、と意見があった。

・理学療法週間推進部：ヒアリングシートに沿って説明があった。来年度は西部ブロックで開催予定。

清宮：茨城県の協会が挙げているシルバーリハビリ体操を全面的に使ってほしいと協会から意見があったが、現状体操事業が進んでいる県は各団体との関係等考慮した上でよい、と説明があった。

【職能局】

・業務推進部：連盟との連携についてなど、ヒアリングシートに沿って説明があった。

・医療保険部：事業数の整理についてなど、ヒアリングシートに沿って説明があった。

・介護保険部：ヒアリングシートに沿って説明があった。

・地域包括ケア推進部：推進リーダー制度や地域包括ケアシステム研修会開催についてなど、ヒアリングシートに沿って説明があった。

【東部ブロック】

・各セクションとのネットワークの構築を進めていきたい旨について、説明があった。

・予算が増えてきているためエリア毎の予算立てと決算ができればよりスムーズになると考えている、と説明があった。

清宮：予算立ての大項目にブロックごとではなくエリアごとにしたいと考えているのか、と質問があった。

原嶋：各ブロックでの整合性が図れていないためまだ相談が必要、と説明があった。

・櫻場南エリア長より、各市町村にて事業を展開していくべき、と意見があった。

【西部ブロック】

・各エリアでの研修会開催、地域包括ケアの活動について、説明があった。

【南部ブロック】

・指定管理者研修等、ネットワークに関係する会議に関して日程や関係づくり、各ブロックの役割についての説明があった。

清宮：新生涯学習システムのキャリアラダーを作り、平成31年に向けてシステムの見直しをしていきたいと協会から説明されたことの紹介があった。

・松野さいたまエリア長より、代表者会議を開催し理学療法マップの作成や連絡網の作成について連携を図った、との説明があった。また来年度運営について説明があった。

清宮：各区割りで事業運営をするのか、と質問があった。

松野：各区から事業依頼が来ること多いためその必要性があると考えている、と説明があった。

岡持：さいたま市は区が多く、全体では規模が大きく大変なので各区での事業も必要、と意見があった。

松野：連携して実施していく、と意見があった。

【北部ブロック】

・熊谷から北にいる会員の研修会参加が難しいことについてなど、ヒアリングシートに沿って説明があった。

【委員会】

・財政基盤検討委員会：平成 29 年度予算案の作成について、説明があった。

・表彰委員会：各表彰について、ヒアリングシートに沿って説明があった。

清宮：表彰規定の改定を実施しているところ、と説明があった。

・組織検討委員会：ヒアリングシートに沿って説明があった。

・第 26 回埼玉県理学療法学会準備委員会：ヒアリングシートに沿って説明があった。

清宮：地域リハビリテーション研修会については 3 団体合同のため課題は残る、と意見があった。

渡邊：現状前向きな意見はいただいている、と意見があった。

清宮：市民公開講座を合同企画とするのか、またどのような内容にするのか、と質問があった。

渡邊：企画やタイムスケジュール等含めて今後再度検討していく、と説明があった。

・ブロック連絡委員会：市町村単位での活動状況等の情報交換やネットワーク組織作りについて、説明があった。

・埼玉県理学療法学会評議員会：ヒアリングシートに沿って説明があった。また、第 27 回埼玉県理学療法学会は前園大会長に決定した、と説明があった。

・訪問リハビリテーション推進振興委員会：ヒアリングシートに沿って説明があった。

・選挙管理委員会：選挙の電子化について予算や委員人数等検討中、との説明があった。

清宮：協会は会長選挙を代議員による選挙にしていく方向との、説明があった。

水田：代議員決定時の現状のシステムを使うことは難しいか、と質問があった。

工藤：それも含めて予算等検討していく、と意見があった。

・がんリハビリテーション推進委員会：引き続き実施していく。

・災害対策検討委員会：熊本地震では埼玉県士会から J R A T として 1 チーム派遣した、と説明があった。また、災害対策委員の研修会など、ヒアリングシートに沿って説明があった。

岡持：派遣のマニュアルは県内から行く場合と、合同で行く場合と別であるのか、と質問があった。

加藤：現状たたき台として作成中で今後バージョンアップしていく、と説明があった。

・オリンピック・パラリンピック対策委員会：ヒアリングシートに沿って説明があった。

《その他》

細井：協会より、都道府県士会に外部から資金が得られる活動を、と意見があったが三役はどう考えているか、と質問があった。

清宮：収入が入る事業については具体的にはまだ考えていない、と意見があった。

岡持：理学療法士に委託したいという事業について現状相談を受けているものはあるので前向きに考えているものはある。また、協会の意向としてはまだモデルがない都道府県をさして言っているのではないかと説明があった。

清宮：会員の会費に頼らず運営する、また会員向けの事業をしっかりと展開していくためのものと考えている、と意見があった。

細井：代議員総会等で出た意見は意図を含めてできるだけ公開してもらえると助かる、と意見があった。

清宮：協会から電子媒体できている議事録があるのでそれをサイボウズに載せることと、このような理事会で各質問に答えていく、と意見があった。

水田：資料をすべてアップしているが、情報をしっかり共有しそれに対する意見や質問は拾っていない、と意見があった。

小峰：フェイスブック等への情報アップはモラル等含めて管理も必要なため、安易に広げていくのは少し危険性もあるので検討は必要ではないかと質問があった。

河合：サイボウズにアップしているセキュリティポリシーを守っていただくようお願いしたい、と意見があった。

原田：第26回埼玉県理学療法士学会について動画配信サービス等の予算立てはどのようにしていく意向かと質問があった。

渡邊：予算をしっかりと立ててやっていく、と意見があった。

《計画外審議》

・『日当規程の改訂について』

本宮財務局長より、埼玉県理学療法士会会員の日当に関する規程についての審議が提出され、継続審議事項となった。

①審議事項

埼玉県理学療法士会会員の日当に関する規程についての審議が提出された。

②決定事項

「事業実施に伴う事務作業等、埼玉県士会の運営にあたり必要と判断される業務を行う場合」に支払対象を拡大することは本理事会では決定せず、今後再度各業務について調査することとなった。

③審議の経過

本宮：埼玉県理学療法士会会員の日当に関する規程の改正について説明があった。

渡邊：多くの人数が、多くの事務作業があるため、このまま決定すると破綻しかねないのではないか、と意見があった。

本宮：来年度予算に間に合わせるにはこのタイミングで審議として上げさせてもらった、と説明があった。

山田：会員の増加から収入増も見込めるが、会費未納の件も考えると難しいのではないかと意見があった。

水田：日当を含めた予算、日当を含めない予算の両方を出してもらったうえで決めるのがよいのではないかと意見があった。

清宮：二本立てでの予算立てをすることが負担ではないかと意見があった。

原：事務的な作業を持ち帰ってやっている者がどの程度いるのか把握するのはどうかと意見があった。

清宮：何にどの程度時間がかかったのかを証明するものが必要になると意見があった。

原田：業務を証明する書類作りが大変になるなら厳しいと意見があった。

清宮：まずは各部局試算してみるのはいかがでしょうかと意見があった。

山田：各業務に対して何時間かかるのかみる方が明確になるのではないかと意見があった。

あくまで見込み時間でいいので各業務に対するものはあるべきではないかと意見があった。

細井：日当の議論をするときは各部局の意見を集約したうえで改定したほうがいいのではないかと意見があった。

清宮：現状本理事会で改定はできない。ただし各部局での試算は必要でそれをもとに次回話し合えばいいのではないかと意見があった。

細井：意見集約のうえで試算しないと試算の繰り返いで手間がかかるのではないかと意見があった。

岡持：日当が適正かどうかの議論は、予算から計算するだけなので意見集約はいらぬのではないかと。ただし、業務の見込み時間は各部局試算してもらう必要があるのではないかと意見があった。

水田：まずは業務見込み時間を試算でいいのではないかと意見があった。

清宮：試算した上で次回理事会にて検討したいと意見があった。

河井：事務作業を時間で評価するのは難しいのではないかと、違った評価視点も必要なのではないかと意見があった。

清宮：今年度中に調査できることを本宮財務局長からもう1度具体的に本当に時間の試算でいいのかも含めて考えて提出してほしいと意見があった。

・『オリンピック・パラリンピック対策委員会 追加予算請求』

遠藤オリンピック・パラリンピック対策委員会委員長より、オリンピック・パラリンピック対策委員会 追加予算請求の審議が提出され、承認された。

①審議事項

オリンピック・パラリンピック対策委員会 追加予算請求の審議が提出された。

②決定事項

2回会議追加及び研修会1回(2/26)の開催のための追加予算請求に対し、追加予算を組むことに決定した。

③審議の経過/

遠藤：オリンピック・パラリンピック対策委員会の追加予算請求の説明があった。

清宮：まず会議の追加についてはどうかと質問があった。

渡邊：現状会議は実施済みで委員持ち出しになっていると説明があった。

清宮：研修会の追加についてはどうか、また会議費と会場費は分けて記載すべきだ、と意見があった。

渡邊：研修会の会費をとる場合ととらない場合で会場費が変わる、またオリパラまで4年しかない
ので早めから研修を重ねないと厳しいのでできれば今年度中に1度開催させてほしい、と意見があった。

原：どの程度の規模の研修会場を考えているのか、と質問があった。

遠藤：現状まだ会場が決まっていないので会場費はまだわからないが記載してある予算よりも安く抑えられる可能性もある、と意見があった。

本宮：予算的には問題ない、と意見があった。

桑原：導入の研修をして今後コアな研修をおこなっていくのか、と質問があった。

遠藤：そのつもりである旨、の説明があった。

岡持：予算として最大にかかるものを試算してよいが、県との関係部署から紹介してもらって会場費を安くできることもある、と意見があった。

細井：開催までのロードマップを示してもらえると教育局としても協力できる、と意見があった。

《報告事項》

- ・『第25回埼玉県理学療法士学会進捗状況について』

藤田学会長より第25回埼玉県理学療法士学会進捗状況について、79演題集まって、現状事前登録者数は400人となっているなどの報告があった。

会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印